

● 8月6日(土) 晴 斜里岳 (1544.8m)

○ 天気は快晴、気温 14℃。目の前に斜里岳が良く見える。絶好の斜里日和。

- ・ 4時15分起床。朝食もそこそこに5時前に登山口の「清岳荘」へ向け出発。ここからすぐ近くなるので5時半には登り始められるだろう。ところがカーナビに清岳荘へ行く道が無い！ ナビの地図を見ながら適当に走っていたら変な林道に導かれた。しばらく走ったら道がどんどん細く寂しくなり、こりゃ変だ！ 有名な斜里岳だから何十台もの車がめざすだろうし、以前来た時はもっと立派な道だった記憶がある。どう見ても道が違う！



快晴だ。5時半には登山口に着くぞ！

- ・ やっとUターンできる場所を探して引き返した。

引き返す途中、道端に巨岩が転がっていてよけきれず左後のドアをぶつけた。行きには無かったはずなのに、私が引き返す間に落ちてきたのかな。

- ・ 道を間違え林道で時間をロスしてしまったので気が焦り、石にぶつけた跡を良く確認もせずそのまま先を急いだ。出発地の道の駅「パパスランド」近くまで戻り地図を確認しながら走ったら、道路に案内標識がちゃんと立っていた。最初からナビなど頼らず道路標識を見て走れば良かった。



結局着いたのは6時半過ぎだった

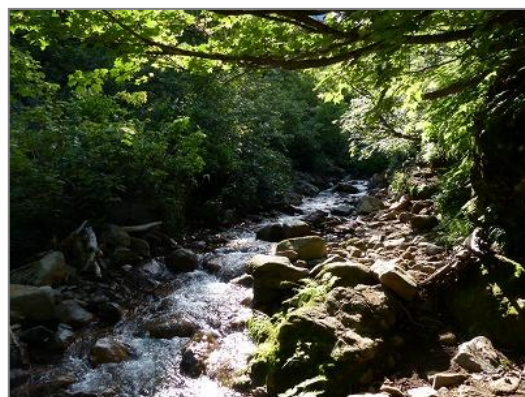
- ・ なんだかんだで1時間以上もロスをして清岳荘に着いたのが6時半を回っていた。駐車場には20台以上の車が止まっている。もうみんな登って行ってしまったらしい。人があまりいない。



登山口 ここから登りが始まる

- ・ 6:50 やっと登山開始。早朝に登り始める予定がえらく遅れて、結局最後になってしまったようだ。ただ天気は無風快晴で、このまま天気の崩れる心配はなさそうなので、マイペースでのんびり登った。

- ・ 斜里岳に登るのは何年ぶりかな？ 何回も渡渉した記憶があるが、こんなにも多かったかな。とにかく渡渉の連続できつい。沢を渡って右へ行ったり左へ行ったり。年をとると平衡感覚が鈍くなり石を飛び越えながらの渡渉は精神的にも肉体的にも誠に辛い。下二股まで1時間、さらにその上の上二股までは水量も多くなり急坂が続くので2時間近くもかかってしまった。





ただ羽衣の滝、万丈の滝など色々な滝が現れたり、クロクモソウ、ダイヤモンドソウ、ミソガワソウ、タカネトウウチソウ、クルマユリなどいろいろな花が咲いていて 実に楽しい道だった。スタートが遅れたことが幸いしたのか、私の後から登ってくる登山者は少なかったので、追い立てられることも無く花の写真を撮りながらマイペースでのんびり登ることが出来た。



羽衣の滝



万丈の滝



水蓮の滝



クロクモソウ



ダイヤモンドソウ



ミソガワソウ



シナノキンバイ



タカネトウウチソウ



クルマユリ



- ・上二股から上は水量が減って沢の中を歩くような形になるのでぐっと楽になった。前は7月初めだったので上二股から上は雪渓に覆われていて、馬の背まで雪渓の上を歩いた覚えがある。今回は雪は全く無く沢伝いに炎天下の夏道を登ったので結構つらいのぼりだった。



上二股

- ・10時半に馬の背、11時にやっと山頂に着いた。なんとコースタイムでは3時間弱のところを4時間もかかってしまった。年だな！



馬の背



山頂手前の祠

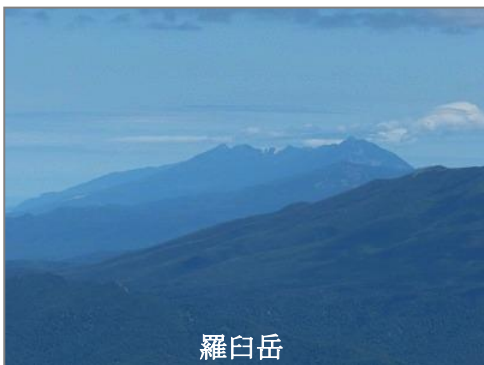
- ・馬の背からはあと一息で山頂だ。

- ・山頂は無風快晴。斜里岳は独立峰なので無風なんていうのは珍しい。前回登った時は晴れていたが吹き飛ばされそうな強風が吹いていた。山頂では大勢の登山者が180度の展望を楽しんでいる。



斜里岳山頂

- ・目の前に羅臼岳、国後島の爺爺岳が遠くに霞んで見える。西に目を向けると雄阿寒岳、雌阿寒岳その奥に大雪山系が霞んで見える。手前には屈斜路湖に硫黄山、摩周湖は中之島まではっきり見える。



羅臼岳



屈斜路湖の奥に雄阿寒岳・雌阿寒岳



摩周岳と摩周湖

- ・ 山頂からの展望はすばらしかったし、山頂のすぐ手前でフタマタタンポポに出会えたり、今日の斜里岳は大成功！山頂からの眺めを十分楽しんでから 11 時半に下山した。



フタマタタンポポ

- ・ 下りは登って来た道を引き返し上二股から新道に入り熊見峠をめざす。新道はハイマツの生い茂る尾根道で、右手に今登ってきた斜里岳の山頂に登山者が見える、見晴らしが良く気持ちが良い道だ。熊見峠を越えて少し行くと標高差 400m の下二股へ一気に下る急坂が始まる。確かに急坂だがこれくらいの急坂はどこにでもあるので特に苦もなく下二股に下り立った。時刻は 13 時半。数パーティーが休んでいた。ここからは今朝登ってきた沢伝いの同じ道をまた清岳荘まで歩くことになる。もう足がかなり疲れていてバランスと踏ん張りがきかないので、数回沢の中に足を踏み外しながら清岳荘に無事辿り着いた。



斜里岳と熊見峠の尾根道

ああなんと楽しくすばらしい山だったことか！ 大満足の斜里岳だった。

- \* 山頂の手前で「喘息持ちで、リハビリを兼ねてのんびり登っています。」という中年の男性に出会った。息が苦しそうで休み休み登っていたが、結構な健脚ではある。「今日は天気が良いし、今日中に帰れば良いです。」と明るいい顔で話していた。天気は良いし、夏で日は長いし、見たところ喘息以外は健脚で元気だし、まず問題無く下山するだろうと思って、熊見峠で「お先に」といって後に置いてきた。

- ・ 駐車場で今朝ぶつけた左後のドアをじっくりと見た。ぶつかった岩の跡が予想以上で、ざっくりとへこんでいる。正面からぶつかったら車は大破で動けなかったろう。不幸中の幸いだったな。これなら不自由なく旅を続けられる。北海道から帰ってからゆっくりと修理をすればいい。と今夜の宿泊予定の道の駅「パパスランド」へ向かった。



- ・ 温泉でゆっくり汗を流して疲れを癒し、今日の夕食は自炊をやめてレストランへ。車の無事と、すばらしかった斜里岳を祝って祝杯をあげた。生ビールに枝豆を頼んだら、枝豆が丼一杯入っていてそれだけで腹が膨れた。メインディナーはスープカレー。鳥のももが一本丸丸入っていてかなり豪華、うまかった。閉店の 8 時までねばったが、結構賑わっていた店内も私が出たのが最後だった。



明日も天気良さそうなので、カムイヌプリ「摩周岳」へ登ろう。

Good Night!